

日・ベトナム 第10回防災協働対話(2023.2)【結果概要】

2023年2月、国土交通省とベトナム農業農村開発省は、ハノイで「第10回防災協働対話」を開催し、「Early Action」に着目した両国の洪水被害の軽減に関する取組等について議論を行いました。

1. 背景・目的

- ✓ 2013年9月に両省大臣間で署名された覚書に基づき、毎年ワークショップ等を開き、防災技術の展開を図っている。(ダム運用・洪水予警報システム構築の無償案件や土砂災害対策の技術協力プロジェクト案件の形成につながった実績有)
- ✓ 第10回は、ベトナム側から関心事項として示された「Early Action」に着目した両国の洪水被害の軽減に関する取組等について情報共有及び議論を行った。
- ✓ あわせて、日本企業(日本防災プラットフォーム会員)7社による関連技術の展示・紹介も実施。

2. 日程・場所

2023/2/13(月) 於:ハノイ ※翌日には、クアンナム省との意見交換、同省ヴーザー・トゥーボン川流域の灌漑用ダム、クアンフェ川河岸侵食、ホイアン市浸水現場を視察。

3. 参加者 (約140名)

【日本】国土交通省 水管理・国土保全局(河川計画課国際室 古市室長、中島補佐、河川環境課水防企画室 谷口補佐)、JICA鈴木専門家、在ベトナム日本大使館鳥山書記官、JICA地球環境部防災グループ南谷課長等(オンライン)・同ベトナム事務所、水資源機構、国際建設技術協会、日本防災プラットフォーム会員企業等
【ベトナム】農業農村開発省(堤防管理・防災局 ファム・ドゥック・ルアン局長、ドアン・トゥイェット・ガー課長 他)



上:ルアン局長挨拶
左:会場



日本企業による技術展示



灌漑用ダム視察(クアンナム省)

実施
結果

- ✓ 日本側から最新の取組事例(第4回アジア・太平洋水サミット及び熊本水イニシアティブ、円滑な避難を促進するためのハザードマップやマイタイムライン等)やJICAの防災協力戦略とベトナムでの実践について紹介し、ベトナム側から洪水に対するハード・ソフト対策やヴーザー・トゥーボン川の洪水被害の状況・対策案等についての説明がなされた。
- ✓ ベトナム側から、防災に関する新技術や、経済発展の中での沿川土地利用のコントロール等の経験について、共有していくことが引き続き重要である旨言及があり、今後も二国間協力の取組を進めて行くことを確認。